



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社

コード番号 6277 URL <http://www.hosokawamicron.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田清巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経理本部部長 (氏名) 井上鉄也

TEL 072-855-2225

四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日

配当支払開始予定日

平成26年6月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	22,336	3.8	1,111	△37.1	1,069	△41.8	728	△42.2
25年9月期第2四半期	21,527	20.1	1,766	20.1	1,836	22.9	1,259	26.5

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 1,721百万円 (△51.4%) 25年9月期第2四半期 3,544百万円 (118.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	17.60	17.56
25年9月期第2四半期	30.43	30.38

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	49,641		27,174			54.6
25年9月期	46,474		25,694			55.2

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 27,124百万円 25年9月期 25,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年9月期	—	7.50	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	5.7	3,700	9.3	3,700	5.1	2,500	11.1	60.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期2Q	43,076,347 株	25年9月期	43,076,347 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年9月期2Q	1,708,529 株	25年9月期	1,710,023 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	41,370,896 株	25年9月期2Q	41,375,493 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、個人や企業の景況感は良好であり、住宅価格や株価の上昇等、緩やかながら回復基調を維持しております。また、欧州では、ユーロ圏の実質GDP成長率が3四半期連続でプラス成長を維持し、回復の裾野が広がり始めております。アジアにおいては、中国経済が景気減速の兆候を示しており、金融市場の不安定な状況と合わせ、成長率が鈍化していくと思われま。一方、日本は、特に消費税率引き上げ前の駆け込み需要を背景に個人消費が高い伸びになるなど、景気の回復基調が続いております。しかしながら、多くの企業は依然設備投資に対する慎重な姿勢を崩しておらず、経済環境の回復基調のような伸びは見られておりません。

このような経済環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は270億2千9百万円(前年同期比18.2%の増加)、受注残高は198億7千1百万円(前年同期比12.1%の増加)、売上高は223億3千6百万円(前年同期比3.8%の増加)となりました。

利益面におきましては、原価率の上昇及び経費の増加などにより、営業利益は11億1千1百万円(前年同期比37.1%の減少)、経常利益は10億6千9百万円(前年同期比41.8%の減少)、四半期純利益は7億2千8百万円(前年同期比42.2%の減少)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①粉体関連事業

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。食品市場向けや医薬市場向け受注が好調であったため、受注高は増加しましたが、製造原価・販売管理費の増加等により、セグメント利益(営業利益)は減少しました。

この結果、受注高は200億6千万円(前年同期比6.5%の増加)、受注残高は148億5千9百万円(前年同期比3.1%の増加)となり、売上高は170億7千1百万円(前年同期比1.7%の減少)、セグメント利益(営業利益)は14億8千3百万円(前年同期比33.0%の減少)となりました。

②プラスチック薄膜関連事業

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

米国市場が好調に推移し、受注・売上ともに大幅増となりました。

この結果、受注高は43億6千万円(前年同期比38.4%の増加)、受注残高は34億7千2百万円(前年同期比24.4%の増加)となり、売上高は36億3千6百万円(前年同期比17.6%の増加)、セグメント利益(営業利益)は1億2千3百万円(前年同期比60.8%の増加)となりました。

③製菓関連事業

当事業は、欧米を中心にハードキャンディ、チョコレート、ベーカリーなどの製菓装置の製造販売・エンジニアリングを手掛けております。米国市場向け大型案件が寄与し、受注高及び受注残高は増加いたしました。また、期初受注残高が多かったことにより売上高も増加いたしました。

この結果、受注高は26億9百万円(前年同期比193.6%の増加)、受注残高は15億4千万円(前年同期比194.3%の増加)となり、売上高は16億2千8百万円(前年同期比53.2%の増加)、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同期は7千1百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加により31億6千7百万円増加し、496億4千1百万円となりました。

負債は主に前受金、長期借入金の増加により16億8千6百万円増加し、224億6千6百万円となりました。

純資産は主に為替が円安に振れたことにより為替換算調整勘定のマイナスが減少したこと及び利益剰余金の増加などにより、14億8千万円増加し、271億7千4百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億5千万円増加し、90億5千7百万円(前年同期比29.9%の増加)となりました。各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは16億5千7百万円の増加(前年同期比1億4千6百万円の増加)となりました。資金の増加要因として、たな卸資産の減少、仕入債務及び前受金の増加がある一方、資金の減少要因は、税金等調整前四半期純利益の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは14億9千4百万円の減少(前年同期比5億8千1百万円の減少)となりました。主として有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3億4千8百万円の増加(前年同期比7億3百万円の増加)となりました。資金の増加要因として、長期借入金による収入がある一方、資金の減少要因は、長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度の税金等調整前四半期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じた税金費用を計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,237	9,088
受取手形及び売掛金	10,563	10,989
製品	1,915	1,645
仕掛品	2,364	2,522
原材料及び貯蔵品	2,439	2,757
繰延税金資産	495	522
その他	1,441	1,657
貸倒引当金	△175	△172
流動資産合計	27,282	29,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,014	10,633
機械装置及び運搬具(純額)	2,347	2,518
土地	4,781	4,814
建設仮勘定	885	304
その他(純額)	553	600
有形固定資産合計	17,583	18,870
無形固定資産		
のれん	15	12
その他	254	239
無形固定資産合計	270	252
投資その他の資産		
投資有価証券	805	955
繰延税金資産	263	274
その他	282	285
貸倒引当金	△13	△9
投資その他の資産合計	1,338	1,506
固定資産合計	19,192	20,629
資産合計	46,474	49,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,751	4,780
1年内返済予定の長期借入金	685	526
未払費用	2,389	2,080
未払法人税等	301	203
繰延税金負債	174	248
前受金	2,367	3,466
賞与引当金	299	283
役員賞与引当金	60	40
製品保証引当金	724	825
受注損失引当金	11	—
その他	1,144	1,006
流動負債合計	12,912	13,462
固定負債		
長期借入金	2,854	3,648
退職給付引当金	4,810	5,157
繰延税金負債	26	26
その他	176	171
固定負債合計	7,868	9,004
負債合計	20,780	22,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,206	5,204
利益剰余金	11,229	11,709
自己株式	△1,291	△1,289
株主資本合計	29,641	30,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	12
為替換算調整勘定	△3,358	△2,293
在外子会社の年金債務調整額	△651	△715
その他の包括利益累計額合計	△3,989	△2,996
新株予約権	42	50
純資産合計	25,694	27,174
負債純資産合計	46,474	49,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	21,527	22,336
売上原価	13,959	14,793
売上総利益	7,567	7,543
販売費及び一般管理費	5,800	6,431
営業利益	1,766	1,111
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	3	4
持分法による投資利益	10	13
為替差益	67	—
その他	28	40
営業外収益合計	133	79
営業外費用		
支払利息	21	20
為替差損	—	24
その他	41	76
営業外費用合計	63	121
経常利益	1,836	1,069
特別利益		
固定資産売却益	51	8
特別利益合計	51	8
特別損失		
固定資産処分損	37	7
減損損失	17	—
特別退職金	10	36
特別損失合計	65	44
税金等調整前四半期純利益	1,822	1,034
法人税等	563	305
少数株主損益調整前四半期純利益	1,259	728
四半期純利益	1,259	728

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,259	728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	159	△7
為替換算調整勘定	2,192	1,065
在外子会社の年金債務調整額	△67	△64
その他の包括利益合計	2,284	993
四半期包括利益	3,544	1,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,544	1,721
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,822	1,034
減価償却費	451	553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△162	△16
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24	△19
製品保証引当金の増減額(△は減少)	77	50
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24	121
受取利息及び受取配当金	△27	△26
支払利息	21	20
持分法による投資損益(△は益)	△10	△13
固定資産売却損益(△は益)	△51	△8
固定資産処分損益(△は益)	36	7
売上債権の増減額(△は増加)	2,439	73
たな卸資産の増減額(△は増加)	△228	166
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,412	△142
前受金の増減額(△は減少)	△266	930
その他	△471	△662
小計	2,195	2,039
利息及び配当金の受取額	25	26
利息の支払額	△20	△20
法人税等の支払額	△690	△387
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,510	1,657
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△0	△148
有形固定資産の取得による支出	△1,048	△1,328
有形固定資産の売却による収入	132	9
無形固定資産の取得による支出	△16	△26
その他	19	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△912	△1,494
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50	1,093
長期借入金の返済による支出	△188	△497
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△206	△248
その他	△7	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△354	348
現金及び現金同等物に係る換算差額	652	339
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	895	850
現金及び現金同等物の期首残高	6,075	8,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,970	9,057

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,372	3,091	1,063	21,527	—	21,527
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9	—	0	10	△10	—
計	17,382	3,091	1,064	21,537	△10	21,527
セグメント利益又は損 失(△)	2,213	76	△71	2,218	△451	1,766

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△451百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,071	3,636	1,628	22,336	—	22,336
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	—	181	182	△182	—
計	17,071	3,636	1,810	22,518	△182	22,336
セグメント利益	1,483	123	5	1,612	△500	1,111

- (注) 1 セグメント利益の調整額△500百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。